

安保破棄ニュース

No. 528
2021.4.16

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五三〇一〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三三三三三三三三三三三
FAX 〇六一六七六三三三三三三三三三三三
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.anpo-osk.jp

安保破棄実行委員会の 役割を確認

大阪安保 2021 年度総会開催



4月3日の昼、大阪グリー会館2階ホールにて、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会の2021年度総会(幹事会)を開催しました。16団体・地域と個人幹事から25人の出席でした。
例年でしたら、学習をセットに行うことが多くありましたが、コロナ禍ということ、短時間にするため、今回は学習は行いませんでしたが、5人の方から発言があり、運動方針を補強し、これからの安保破棄実行委員会としての役割を考えるうえで、有意義な総会になりました。

開会のあいさつで植田代表幹事は、戦争法が施行されたことよって日米同盟・日米安保体制がいかに変質してきているか、まさに戦争への道が作られようとしている状況について述べられ。そのうえで「このような危機をいかに打開していくか、私たちの安保廃棄の運動の大事な時期にあります」と語られました。

討論では、5人の方から発言がありました。民医連の庄司さんは、コロナ禍で、医療現場がいかに大変な状況になっているかを話されました。また、自らが初めて辺野古の座り込みに参加した時「大阪で自民党の議員を一人でも落としてほしい」と現地の方に言われたことで、「安保の問題は日本全国で勝てないといけない」と感じた経験などを話されました。そして、安保条約の学習の在り方として、誰を対象にどのような形で行うのか考えて組織方針をもって取り組む必要があると語られました。

共産党の福井さんからは、安保破棄実行委員会が今、そして将来どのような役割を果たさなければいけないか、安保破棄の日本を実現す

る役割と安保破棄後の日本を發展させる役割があるということが語られました。また、日常的に軍事同盟の実態を発信することの重要性にも言及し、安保破棄の課題は日本政府も問題、安保条約について語って共同を広げていこうと語られました。

大商連の大島さんは、辺野古支援に行きたいけれど資金がないという人のために、民泊経営をやるうとした経緯について話され、この間にも自ら辺野古支援に行つて感じたことについて語られました。「現地を見たら、自分の地元での行動や声掛けが変わる」と、現地行動の必要性を述べられました。

うたごえ協議会の岡邑さんは、「維新の不祥事」や維新の会の議員などの名前で検索したものを、自らまとめて作った「維新の不祥事」という冊子の紹介をされました。

母親大会連絡会の岸上さんは、日米安保条約の正体を広く知らせていく必要があると話され、大阪母連で、4月29日に「劇映画 おきなわ」の上映会を行うことを話されました。

近畿2府4県安保破棄実行委員会 連続学習講座第2弾



来る4月29日(祝)、近畿安保合同のオンライン学習会第2弾「沖縄はいま」を開催します。

1972年5月15日、「核抜き、本土並み」といううたい文句の中、沖縄は祖国復帰を果たし、来年で50年を迎えますが、今もなお、沖縄には31の米軍専用施設が有り、県人口の8割以上(約120万人)が暮らす本島中部では、実に面積の22.6%もの土地が米軍基地に取られたままです。

狭い土地に暮らさざるを得ないため、人口密度は全国的にも非常に高くなり、市街地を分断する米軍基地のために都市機能・交通体制・土地利用などの面で経済の發展が阻害されているのが実態です。

政府は、沖縄振興予算が沖縄県にだけ上乗せされているように見せかけ、沖縄県が米軍基地経済に大きく依存しているように描こうとされていますが、実際には、「米軍基地は沖縄経済の發展にとって最大の阻害要因」だということとは、故翁長知事の知事選挙をはじめ、その後の国政選挙、そして「県民投票」などにおいて「辺野古新基地建設反対」の大きな「民意」によって証明されています。

それでも「辺野古が唯一」と言い続け、コロナ禍の中でも工事を止めず、美しい豊かな海に土砂を投入し続けて基地を造り、米軍と共に自衛隊の水陸機動団を配置し、再び沖縄を「捨て石」として戦争しようとする菅政権を許すわけにはいきません。

改めて沖縄の「いま」を確認し、たたかいに備えるため、どうぞオンライン学習会にご参加ください。

コロナ禍での 軍事訓練やめよ！

自衛隊信太山駐屯地への要請行動

(自衛隊内でのコロナ感染症拡大を受けて)

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。安保破棄大阪実行委員会は3月10日、大阪平和委員会・和泉平和委員会・日本共産党の早乙女和泉市会議員と共に、陸自信太山駐屯地に対しての申し入れを行いました。この行動は、全国の自衛隊内で発生している隊内でのコロナ感染拡大の報道を受け、信太山駐屯地においても15人の感染者

が確認されたことから実施したものです。安保法制施行から5年、急速に日米の軍事一体化が進み、このコロナ禍においても、「戦争する国」に向けて実践さながらの日米合同訓練が頻繁に行われ、自衛隊独自の訓練も様々な形で実施されています。当日手交した申し入れ書では、集団行動では「3密」は避けられないことを指摘し、コロナ禍の中では一切の訓練を中止すること、日米地位協定により日本側の検疫を免れている米軍との共同訓練を中止することをはじめ、隊員とその家族、駐屯地周辺の市民の命と健康を守り、ひっ迫した医療態勢の崩壊を防止する観点からの対応を訴え、隊内での感染実態及び予防対策について



て質しました。申し入れに対応した駐屯地の広報室長から、報道後も2人感染者が増えたことが明かされましたが、申し入れ事項に対する回答は何らされることはなく、今後も、変貌する自衛隊について注視していくことの必要性を感じました。

23 宣伝行動

3月の大阪安保23定例宣伝行動を、3月23日の火曜日に、いつもと同じく昼の12時から淀屋橋で行いました。通算394回目の行動です。

12人の参加で、ビラ配布、「日米地位協定の抜本的改定を求める請願署名」への協力呼びかけ、弁士による訴えを行いました。風が強かったですが天気も良く、ビラも結構受け取ってもらえました。

日本共産党、大教組、うたごえ協議会、憲法会議から弁士を出してもらいました。

通り過ぎかけた人が、何の署名か見て、戻ってきて協力してくれるということもありました。

4月の23宣伝行動は、この間の新型コロナウイルス感染拡大の状況から考えて、中止とさせていただきます。次回は、5月21日(金)の予定です。



諸団体の取り組み、当面の予定など

4月

- 29日(祝) 近畿安保連続学習会第2弾「沖縄はいま」
(14:00~16:00 オンライン)
劇映画「沖縄」上映会(1・2部 195分)
(大阪母連主催 たかつガーデン8階 9:30~、14:00~)

5月

- 1日(土) 第92回大阪メーデー(9:30~ 扇町公園《web配信あり》)
3日(月・祝)「輝け憲法！平和といのちと人権を！
5・3おおさか総がかり集会」
(14:00~扇町公園)
12日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~)
19日(水) 近畿安保合同会議(13:00~オンライン)
21日(金) 大阪安保23宣伝行動(12:00~淀屋橋)

6月

- 2日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~)
13日(日) 近畿安保連続学習会第3弾
「南西諸島へのミサイル基地建設」(仮)
(14:00~16:00 オンライン)

メールアドレス登録のお願い

昨今の運動の中で、「情報提供型」の活動がより重要となってきています。安保破棄の運動では、日米安保条約の弊害や真実がなかなか知られていないことがよく感じられるところです。今までも、ホームページなどで情報発信をしまいましたが、今後、情報提供型の活動へもっと力を入れていきたいと考えています。

まずは、メールを使っての情報発信をもっと広範に行っていきたいと思っています。

大阪安保からの情報を受け取っても良いという方は、大阪安保へ、件名か本文にお名前を記載したメールを送ってください。

大阪安保メールアドレス：anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp

※できるだけパソコンなど、添付ファイルを開けられるメールアドレスで、ご登録お願いいたします。